

これからも続けたい畑のお手伝い

秩父市立大田小学校 六年 木本 葵彩

私の家の前には、ばあちゃんが作っている
広い畑があります。そこには、季節に合った
たくさんの野菜が植えてあります。私も小さ
い頃から畑で虫とりをして遊んだり、種まき
や収穫のお手伝いをしたりしています。種を
まいた野菜が大きくなっていったり、花が咲
いたり、葉っぱが大きくなっていく様子を見
たり、畑に行くことはとても楽しいです。

私が毎年必ずお手伝いしているのが、じゃ
がいも植えます。ばあちゃんが、肥料をま
いて耕運機で畑を耕して、さく切りをして、う
ねを作っておいてくれるので、そこに芽を
残して半分に切ったたねいもの切り口に灰を
つけて同じ間隔になるように間隔棒を置きなが
らたねいもを置いていきます。灰をつけると
切り口の表面水分が減って乾燥する事で、植
えつけた時にたねいもが腐りにくくなると、ば
あちゃんが教えてくれました。じゃがいもは、

一か月くらいで芽を出して大きく育っていき
ます。今年も霜が降りて、葉っぱが黒くなっ
てしまっ、て、ちゃんと育つのか心配したけれ
ど、日に日に元気な緑色の葉っぱになっ、て安
心しました。ばあちゃんには、イモが日光に当
たると緑化すると同時に、ソラニンという毒
性のある物質が作られるため、土寄せをして
イモを地表に出さないようにしています。三
か月くらいいたった頃、じゃがいもが大きくな
っているが試しにはあちゃんとお母さん、お
兄ちゃん、弟と一緒に掘ってみたら、今年
は八センチメートルくらいのちゅうどいい大き
さのじゃがいもがたくさん収穫できました。
一番大きいじゃがいもは、十センチメートル
以上もあって、とても大きくて、おみんなビツ
クリしました。収穫したじゃがいもをみんな
で洗って、ばあちゃんが大きな鍋でゆでてく
れました。ゆでたてをそのまま食べてもホク
ホクしていて、とてもおいしかったです。こ
のホクホク感は、採れたての時期の新じゃが

③

いもならではなので、私は毎年新じゃがいもを食べるのがとても楽しみです。他にもお母さんと一緒に、じゃがバター・じゃがいものチーズ焼き・カレー・シチュー・じゃがいものみそ汁など、色々な料理を作りました。私は、料理のお手伝いをする事も大好きです。作った料理をみんながおいしいと言ってくれると、とてもうれしいです。

種をまいたり、苗を植えたり、お手伝いをして私もばあちゃんと一緒に育てている野菜を収穫して食べるのは格別においしいです。野菜作りは楽しいので、これからもばあちゃんのお畑のお手伝いをたくさんして、おいしい野菜を育てたいです。